

植木団地から一步も退かず、生きるために闘いぬく！

高槻市を弾劾する裁判に打って出たぞ！

裁判で、高槻市の不当性とウソとだましを暴くぞ！

2月6日、高槻市を攻勢的に提訴し、「植木団地追い出し絶対反対！高槻市弾劾！」の裁判を起しました。いよいよ私たちが攻める番です。

高槻市は、裁判でウソがばれ、一方的に職場と仕事を奪うことの不当性が明らかになり、高槻や全国の労働者が怒り、ともに立ち上がることを死ぬほど恐れ、「裁判潰し」に襲いかかってきました。高槻市、部落解放同盟富田支部や悪徳弁護士まで使って、「今も植木団地にいるのは不法占拠の犯罪者だ。逮捕される」「膨大な賠償金を請求され、自宅や全財産を没収される」などのウソで家族を不安にさせ、「闘争をやめて」と泣きわめかせ、組合員を「自殺寸前」にまで追い詰めました。植木団地の労働者の団結を潰すためなら、人間性を踏みにじって人格を破壊し、生業を奪い、家族関係をズタズタにする卑劣きわまりない攻撃を絶対に許さない！私たちは、闘争破壊の「最後の切り札」を打ち破り、団結をより強くうち固めた！植木団地で堂々と誇り高く生き闘う！

決起集会で、当該・家族が一体となって闘うことを宣言！

2月20日、裁判勝利に向けた決起集会を開催しました。植木団地労働組合と全国水平同盟高槻支部の労働者と家族をはじめ弁護士、全国水平同盟・本部・西郡支部・杉並支部、関西や地元の労働組合や労働者90人が集まりました。植木団地労働組合から、この間の激しい裁判闘争潰しを怒りを込めて弾劾し、勝利をめざして闘いぬく決意を明らかにしました。共に闘う思いを込めた割れるような拍手がおこりました。西郡支部の仲間が「自分たちも激しい切り崩し攻撃に負けず団結を守り絶対反対で闘いぬくことで、高槻支部と合流できた」と団結を拡大した喜びを語りました。弁護士や労働組合は「この裁判は『生きさせる！』の闘い、団結して力を合わせて闘おう」と熱く訴えました。

攻勢をかけ、すべてを奪い返すとき！

植木団地闘争は、解放同盟本部派が押さえ込んでいた村の労働者の怒りを解き放つ！

全国水平同盟に結集して生きるために闘い、仕事も衣食住もすべてを奪い返そう！

植木団地追い出し絶対反対！高槻市弾劾！
第1回公判に集まるぞ！

4月15日（水）午後3時

大阪地裁大法廷（202）

植木団地労働組合 全国水平同盟高槻支部

連絡先：〒569-0824高槻市川添1丁目-18-1

電話 072-693-0056

FAX 072-693-0058

住宅からの追い出し、下の階に住み替えたい、仕事がない、雇い止め、解雇、賃金未払い、労災など、どんなことでも気軽に相談してください。

